

作品  
コンセプト

(案内者である)妖怪、精霊を探し求める  
会話を求める アプリケーション

自由記入欄 (ご自由にお使いください) 精霊発見機 = AR以外にアプリ =

携帯電話、スマートフォンのアプリケーションとして、スマートフォンに依るサービス(システム)です。  
史跡や店舗等の或る地点に、※精霊キャラクターの情報を示す、QRコード、<sup>情報チャプ</sup>が設置(しており、  
発信器  
GPSと紐づく(モバイル機器の位置を知らせる)。

例えば:

大隈重信記念館の前で、このアプリを起動し、モバイル機器のカメラ越しに、のぞくと  
「記念館の前には、大隈重信公の立像があり、自己紹介の音声、ARアイコン、音声、テロ等と説明し、  
(ARアイコンで)」  
↓  
「本来見えな、感じとれないものを、体感できるものとして」

又、このアプリで、キャラクターを取得すると、キャラクターを图鉴に登録できます。

「戦国武将」キャラクター「みねはな」のことで  
(戦国武将はあり、その場所に行かなくてはならない)。

事務局受付番号

106

起動アイコンから

→ D: データ (設定機)

これを起動して、(起動したまま) 目的地へ向かう。

1. キャラクターが設置している場所が近づく。アラームで知らせ、発見モードにする。

2. 発見モードにして、キャラクター情報を取得。

3. キャラクター情報を取得したら、キャラクターがアークセッションメッセージを発信する。

→ C: カメラ

カメラと記念写真が撮れるモード

→ S: ステータス画面

名前

年齢

性別

住所

取得方式

コンパチキャラ表示 ON/OFF

音階上げ ON/OFF

メッセージ表示 ON/OFF 等

道中結婚して情報も変更した場合

例: 女性が結婚して名字が変わる場合、キャラクターが

「結婚して名前が変わるよ、おめでとう」というメッセージが出る。



起動アプリの方

→ M: マップ  
 地図もダウンロードできるが道と建物だけであり、これは、場所12、ユーザーがキエウ(ワグ=古集)  
 を立て、この場所をユーザーは付をしたが、この場所はユーザーとこの人の場所が書きこみ、  
 『自分の地図』を作る。

R: ログ  
 1) キエウ村以外を線で結び過去のルートを表示したり、  
 コールを設定し、そのまでのルートを表示する

Ref: リアル2 (図解)  
 過去に記録した場所の1つはキエウ村も記録、  
 画像、音声、メッセージを再生できる

13

事務局受付番号	106
---------	-----

# 精霊発見器-4

その世.

設置してあるキャラクター達は「土エ.カバ」ではありません.

「エエに住んでいるモノ」なので.

(守護神や地系尊霊のようなもの)

右から、イイトことと、おめいメッセージを、更新したり、再びユーザーがその場所を訪れたら

「久しぶりだね、よく来てくれた。」等の、心に配りのあるメッセージを発します。

渠外の人には、ステータスの情報を語り、「遠い所からよく来たね、おね」等と喋ります。

一応、お子様向けなので、機器の設計を語り、「もう暗くなる夜」が決め手となりコワイ  
音が出来る。早くお帰り」と呼びかけます。

しかし、夜におたる祭り(花火大会・ライトアップ等)など、まちがらメッセージ

「今宵はさかしいね、お前も楽しめ」と語りかけます。

機器の精報(時刻・性別・年齢、等)でメッセージ内容は変化します。

究極的にはこのアプリを使、左経験を通して.

「見えるモノの存在を信じさせる」のが目的です。

それによ、人とのつながりや信頼を感じてもらえればいいかと思、ています。

## 構成図

